

竹垣（四つ目垣）

概 略

- ・ 9年前、緑化センターで偶然出会った庭師さんに、造園工事をその場で依頼し、ついでに施工してもらった裏口の簡単な竹垣だったが、さすがにボロボロになってきたので、見真似で作り直すことにした。
- ・ 開き戸の木枠は、未だ使えそうなので、塗装して再利用することにした。

寸 法 3800 全幅×1100 親柱高さ

材 料 竹材：30φ 柱：焼磨棒

塗 装 キシラデコール（ウォルナット）

製作費 6,203 円（塗装除く）

完成：2011 年 7 月



左下段の胴縁は、盛土にぶつかるので途中でカットした。



30φ竹材ではやはり貧弱ですが、上々の出来でした。



お洒落な市販品だとこんな値段です。 開き戸まで含めると恐ろしい値段になりそう。

裏話

- ・ 傷んだ竹垣を、丸棒で補強したりして何とか持ち応えていたが、ついに親柱が根本から折れるに至って、初めての“竹垣作り”に挑戦してみることにした。
- ・ Net 上の竹垣情報などを参考にしながら一応図面を書いてみると、柱は単純に 1 直線に並べては具合悪いことに気がつく。やはり図面って大事だなと痛感する。
- ・ 35~40φの青竹（真竹）が欲しかったが、近辺で手に入れるのは難しそうなので、HC を何軒か探し回って、結局、28φ~30φの防腐処理竹？（中国産）で施工することにした。
- ・ 田舎から青竹を送ってもらおうかとも思案したが、見積送料が 4000 円以上掛かりそうな上に、山からの切り出しや長尺の荷造りに、このクソ暑い中を申訳ないので今回は諦めた。 帰省の折に自分で段取りしようかな。
- ・ 既存“開き戸”の外枠部は、未だしっかりしており、塗装して再利用することにしたが、飾りの格子部だけは、細竹を探して編み直すことにした。（腰板も 1 枚かなり傷んでいるが、気付かなかったことに・・・）
- ・ 此の仕事の最大のポイントは、親柱を平行にシッカリ立てることだが、無理やり打ち込まずに、竪穴を深く掘って、突き固める方法によったので、扉開閉・施錠ともピッタリに仕上げる事が出来た。
- ・ 材料コストが案外掛かるものだが、市販の価格に比べればそれでも御の字なのかも・・・。
- ・ シュロ縄は、「水に濡らすと結びが締まりやすい」との事だったが、手が真っ黒に汚れるのには閉口した。（着色シュロ縄は、最初から濡らしてはダメだね。イボの所だけに水を吹きかけてやれば良かったのかも・・・。）
- ・ 子供の頃、親父に教わった「男結び」、今回のたくさんの結びで、やっと自分のものになった気がする。